

## 紙芝居「森をキチンと管理しよう」

この紙芝居は平成 28 年 10 月 3 日（日曜日）に行われた「森林体験教室～木に学ぼう！木で遊ぼう！こども木育デー～」で使用したものです。

### （1 枚目）

昔々、あるところに緑の生い茂る豊かな島がありました。  
そこでは、みんな、毎日、平和に暮らしていました。

### （2 枚目）

森が空気を綺麗にしてくれるため、みんなは新鮮な空気を吸うことができました。また、森が水を綺麗にしてくれるため、おいしい水を飲むこともできました。

### （3 枚目）

それだけではありません。  
風の強い日には森が風を受け止め、みんなを守っていましたし・・・。  
森の栄養が川や海へ流れ込むことで、みんなは美味しい魚を食べることもできました。  
森はみんなを幸せにしていました。

### （4 枚目）

木は、木材にもなります。  
木を伐って加工することで、いろいろなものになります。  
家や机、鉛筆や紙なんかにもなります。  
島みんなは、魚を捕るために木で舟を造りました。

### （5 枚目）

ある人は言いました。  
「木はこんなにあるのだから、伐っても、伐ってもなくなるよ！だから、もっともっと木を伐って舟を造ろうよ」  
木はどんどん伐られていってしまいました。

### （6 枚目）

ついに沢山あった木は伐り尽くされてしまい、島から森がなくなってしまいました

した。

(7枚目)

そうしたら、どうしたことでしょう。  
綺麗だったはずの空気は汚れ、水は飲めなくなり、川や海から魚もいなくなっ  
てしまいました。  
おまけに、雨が降るたびに川は氾濫します。  
一体、どうしてこんな事になってしまったのだろう・・・。  
島みんなは悩みました。

(8枚目)

みんなは、ようやく気付きました。  
「森が、私たちを守ってくれていたんだ・・・」  
しかし、いくら後悔しても伐り尽くされてしまった森は元には戻りませんで  
した。

(9枚目)

ついに、島には食べ物がなくなり、生活することが難しくなりました。  
「どうしよう・・・」「だれか助けて」  
なかには喧嘩を始める人もいます。  
そのとき、ある人が言いました。  
「そうだ、みんな！我々は木で舟を造ったじゃないか！舟に乗って違う土地に  
引っ越そう！！」

(10枚目)

こうして、人々は舟に乗って島を後にしました。  
木を伐りすぎてしまったばかりに、住む場所をなくしてしまった昔に起きた悲  
しい物語です。

(11枚目)

時は流れ・・・。  
この島で昔に起こったことは、多くの人々に知られるところとなりました。  
「木は伐りすぎではいけない」これは、今では、ほとんどの人が当たり前のよ  
うに知っています。  
「木を沢山植えよう」多くの人がそう思い、あちこちに木が植えられました。

(12枚目)

しかし、ここにきて新たな疑問がわき上がりました。

「木を伐らない方が良いと言っても、果たして全く伐らないことが本当に良いのだろうか・・・」

「むしろ、少しくらいは木を伐った方が良い森になるのではないか・・・」

沢山の木が植えられ、木で混み合った森を前にして、森や木に詳しい人たちは話し合いました。

(13枚目)

一人が、森の写真を見せながら言いました。

「左が適度に木を伐った森で・・・、右が全く木を伐っていない森。どっちの方が良い森に見えるだろうか・・・」

この写真を見せられては、みんなは何も言い返せません。

一斉に「左の森」と答えました。

右の森は、木が多すぎるために太陽の光が当たらず、どこか不気味です。一本一本の木も細く、風が吹いたら今にも倒れてしまいそうです。

それに比べて左の森はどうでしょう？一本一本の木が太く、木々の間からは太陽の光も差し込んでおり、下には草も茂っています。

(14枚目)

長い話し合いの結果、森や木に詳しい人達は言いました。

「確かに・・・、木の伐りすぎは良くないが、全く木を伐らないのも良くない。丁度良いタイミングに、丁度良い本数だけ伐る。それが森にとって一番だろう」木をただ沢山植えるのではなく、伐る時期が来たら、しっかり伐ることも同じくらい大切なのです。

つまりは「木を植えてから木を伐るまで、森をキチンと管理することが、大切である」とみんなは気付いたのです。

(15枚目)

しかし、森をキチンと管理すると言うのは、簡単なことではありません。

ある人が「あそこの森の木を伐りに行こう！」と森に向かったとします。

丁度、その森の木を少しだけ伐らなければならない時だったのです。

(16枚目)

しかし、その人は道の途中で困ってしまいました。  
道の真ん中に木が生えてしまい、それ以上先に進めなくなってしまっていたからです。

「前までは、こんな木生えてなかったのに・・・」  
これでは、森に辿り着くまでが大変です。

また、ある日には機械が途中で故障して動かなくなってしまい、別の日には木の伐り方を知っている人がいなくなってしまい、木を伐ることすらできない日もありました。

「木を伐らないといけないのに、困ったなあ・・・」

(17枚目)

そして、またしてもみんなは学習しました。  
森をキチンと管理するためには、森だけではなく、森に行くまでの道もキチンと管理しなければならないことを・・・。

いや、道だけではない。道具や機械。さらには林業に携わる人など、森に関係するあらゆるものをキチンと管理しなければならないことに・・・。

森をキチンと管理する、簡単なようでとても難しいことです。

しかし、私たちは今後も、森について考え、森をキチンと管理していかなければならないでしょう。

(18枚目)

この地球を、あの島のようにしないために。



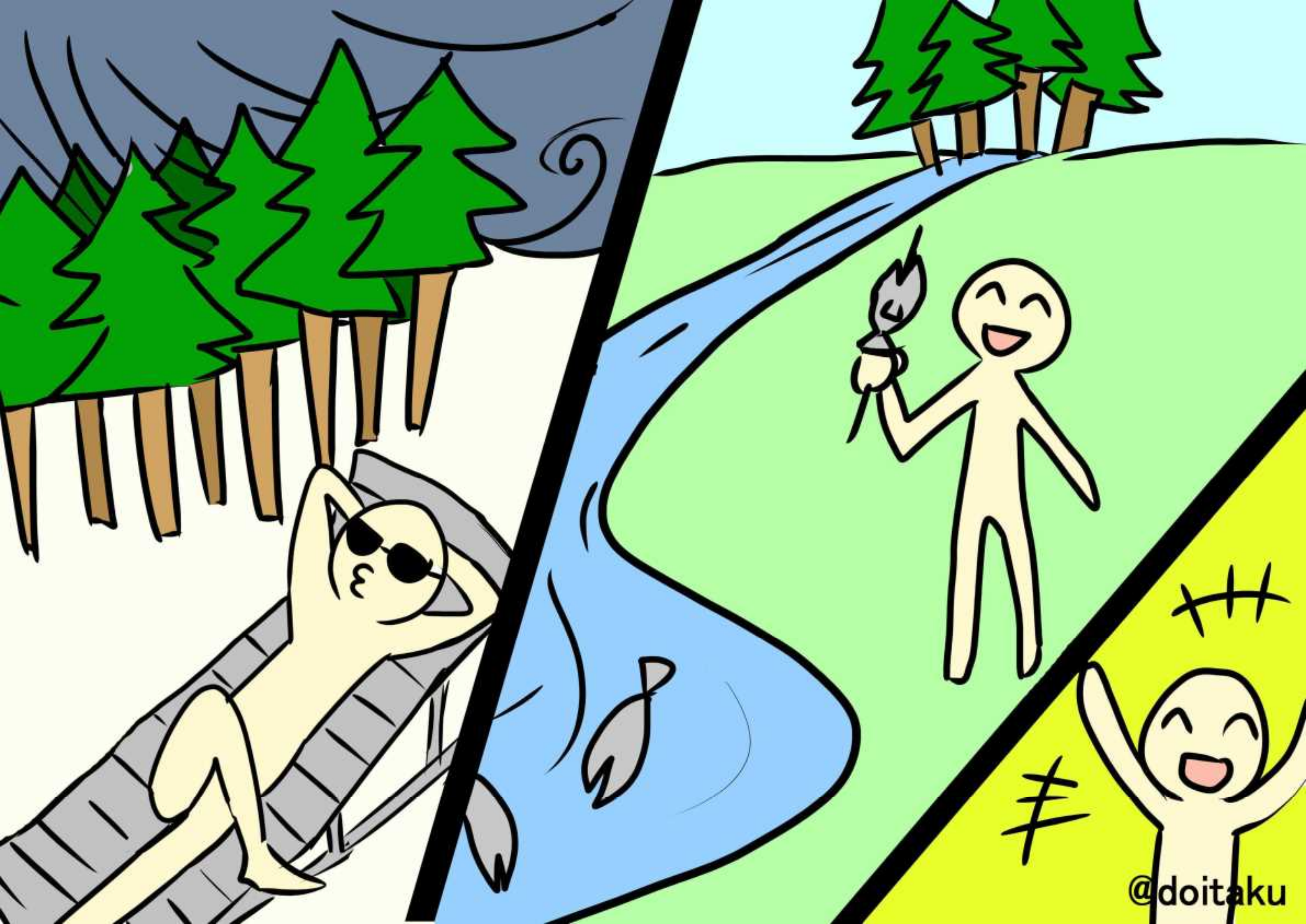
@doitaku





@doitaku





@doitaku





@doitaku









@doitaku





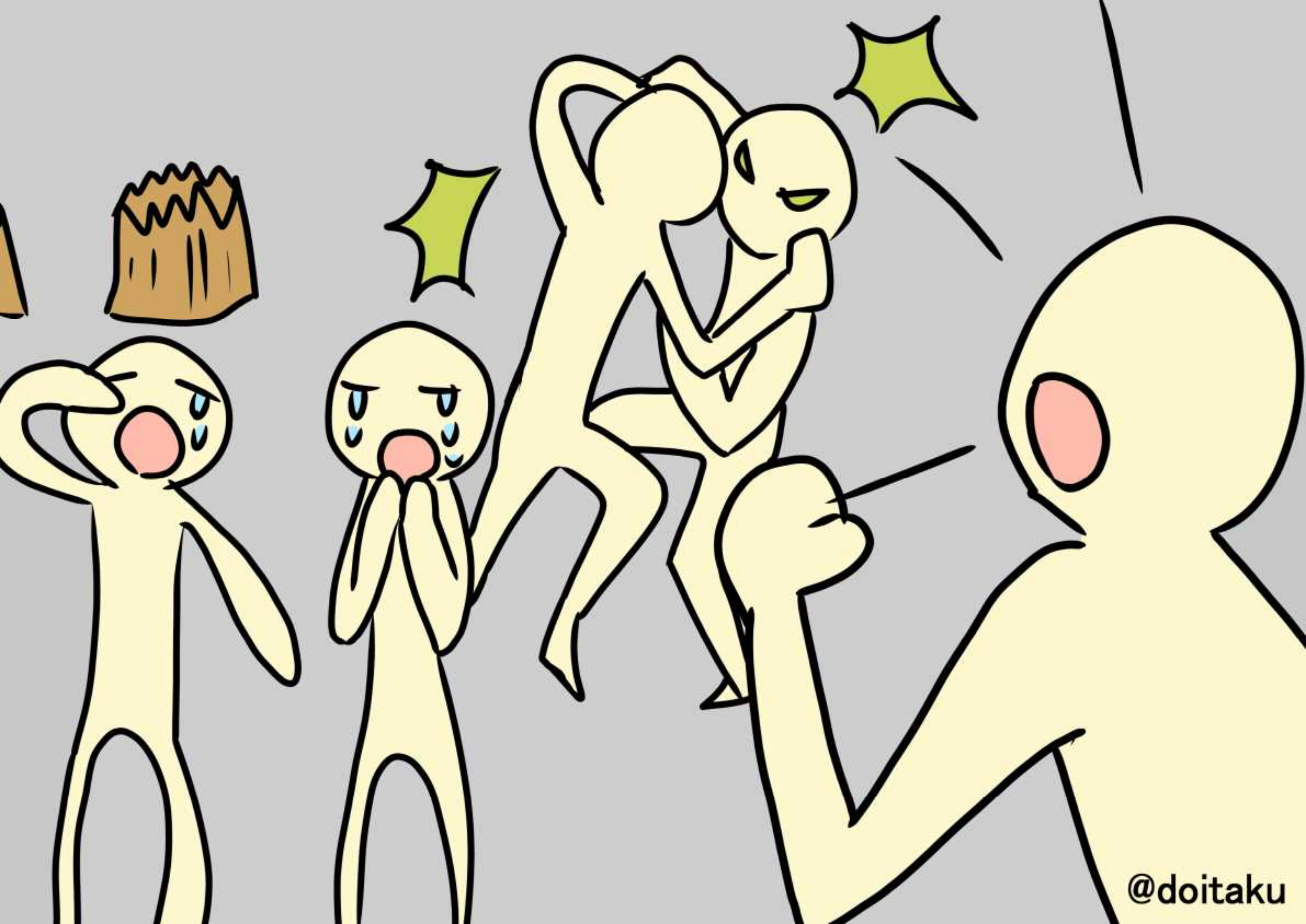
@doitaku





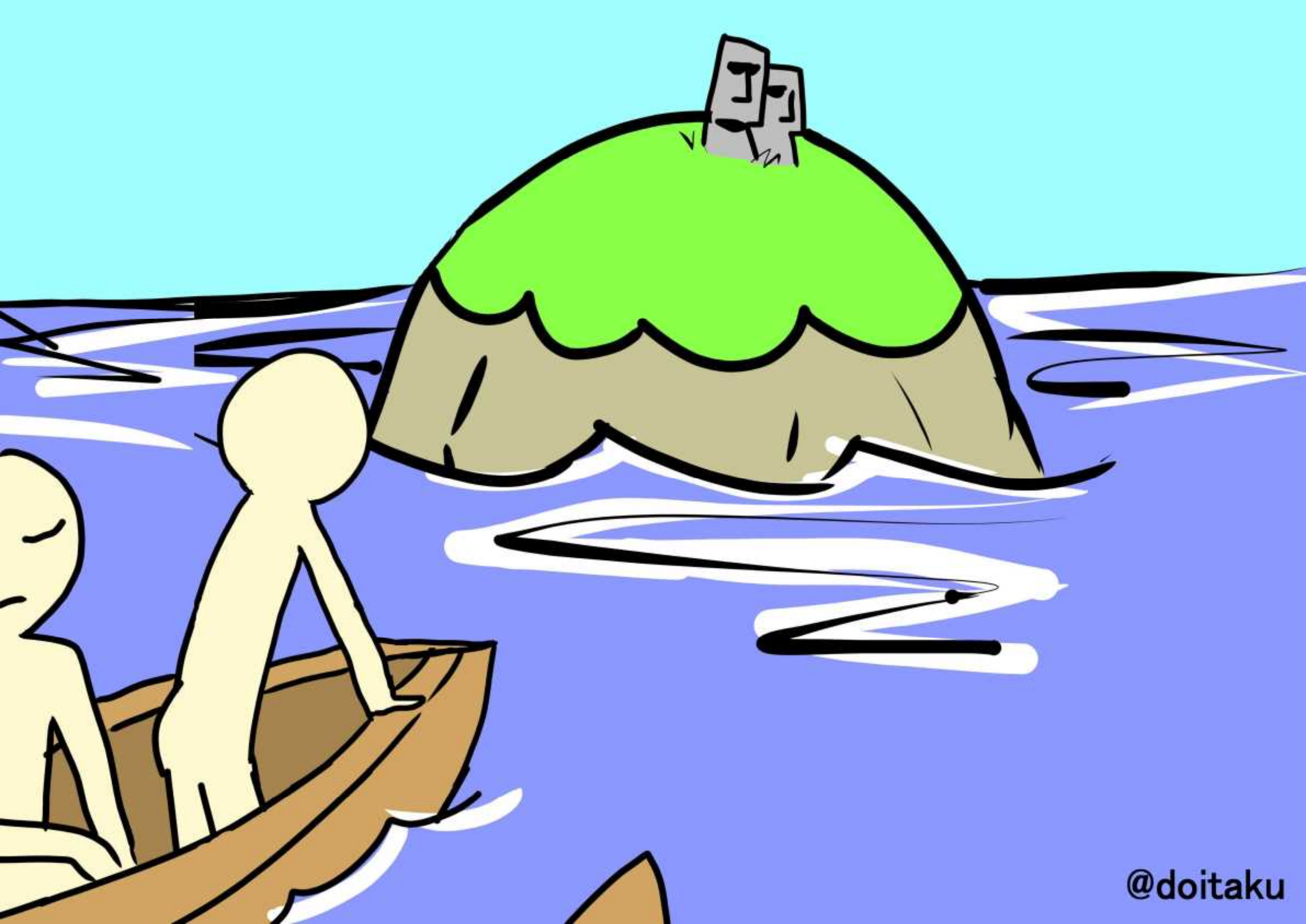
@doitaku





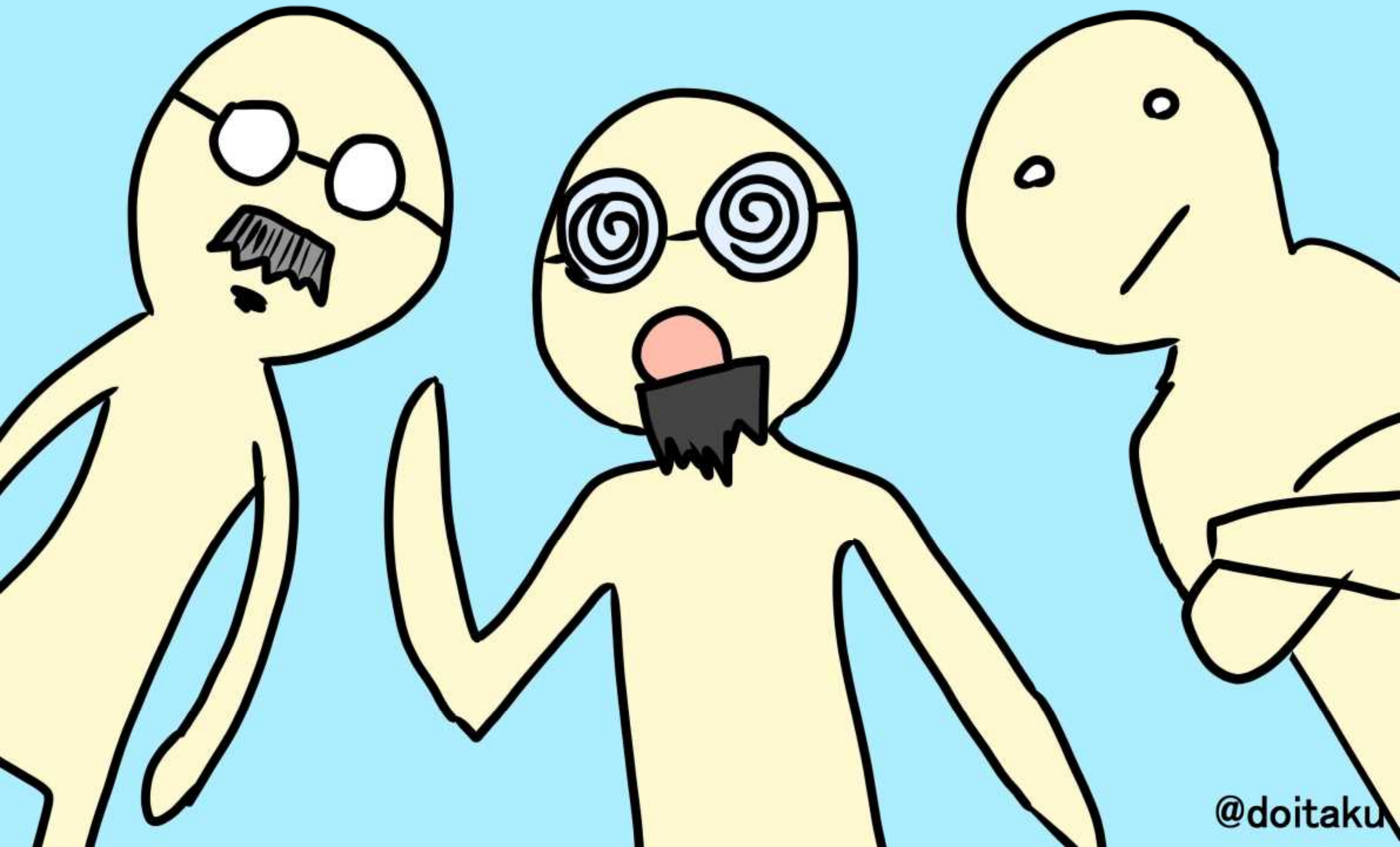
@doitaku











@doitaku



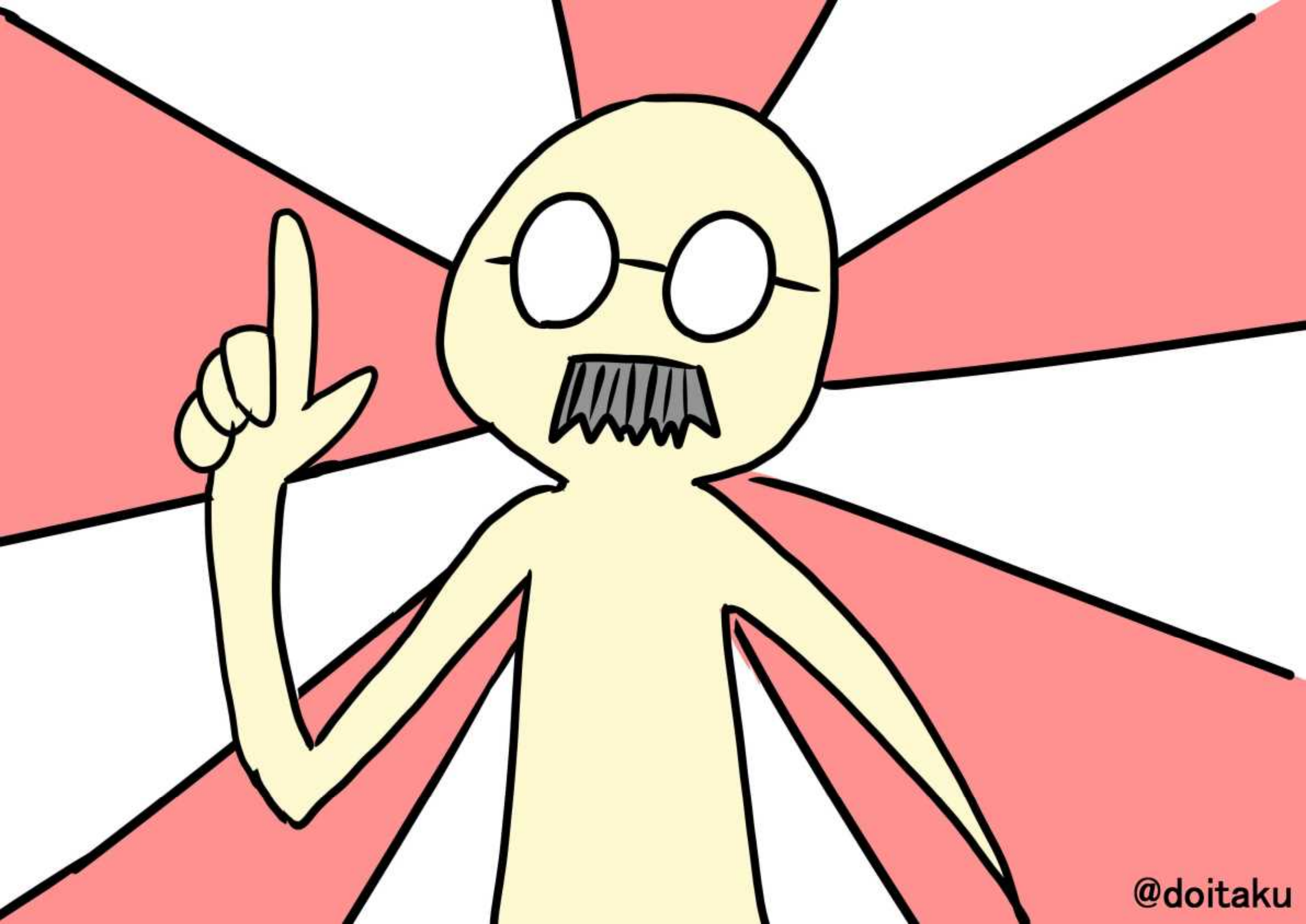
ひだり  
左

みぎ  
右



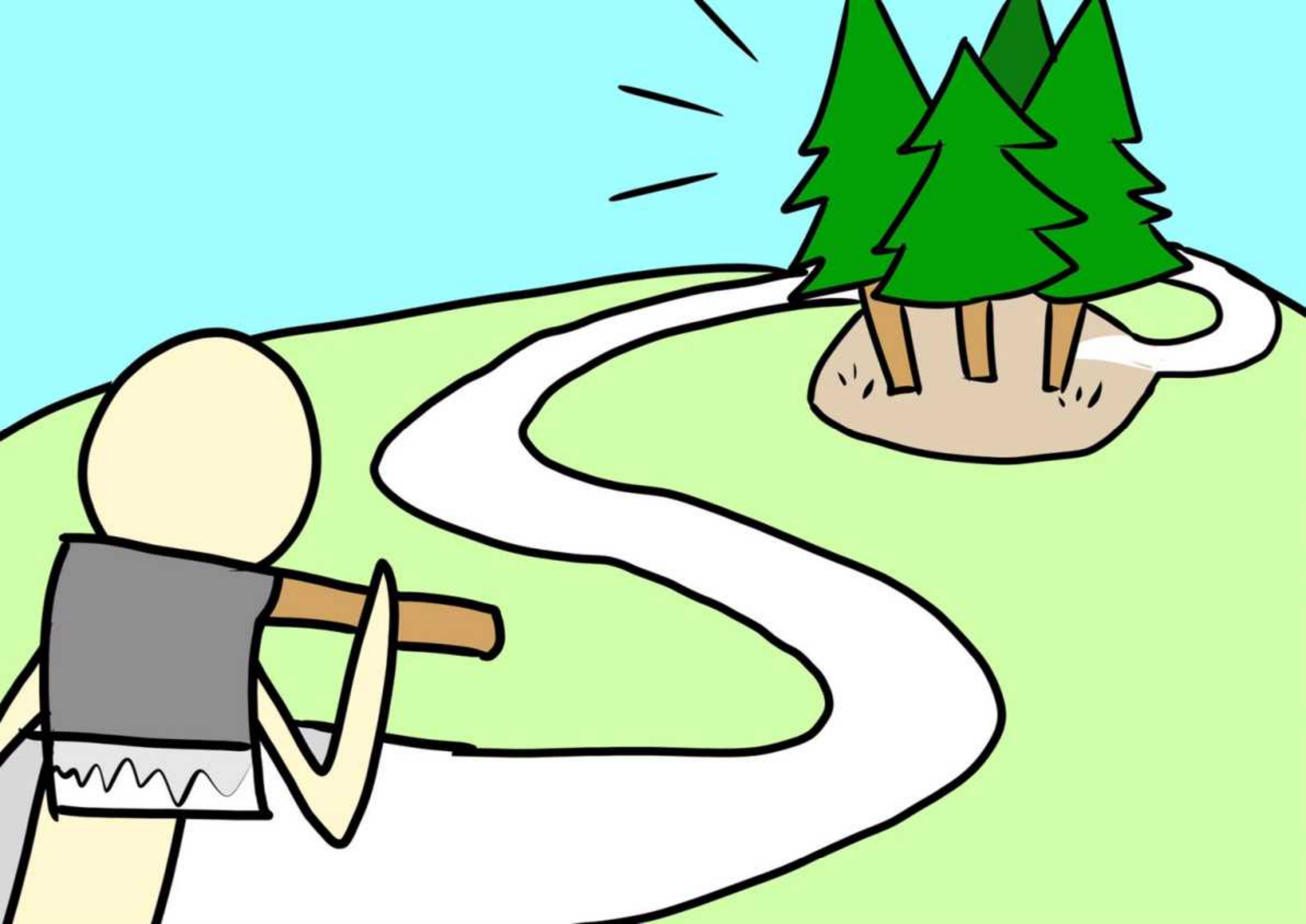
い もり  
良い森

よ もり  
良くない森



@doitaku

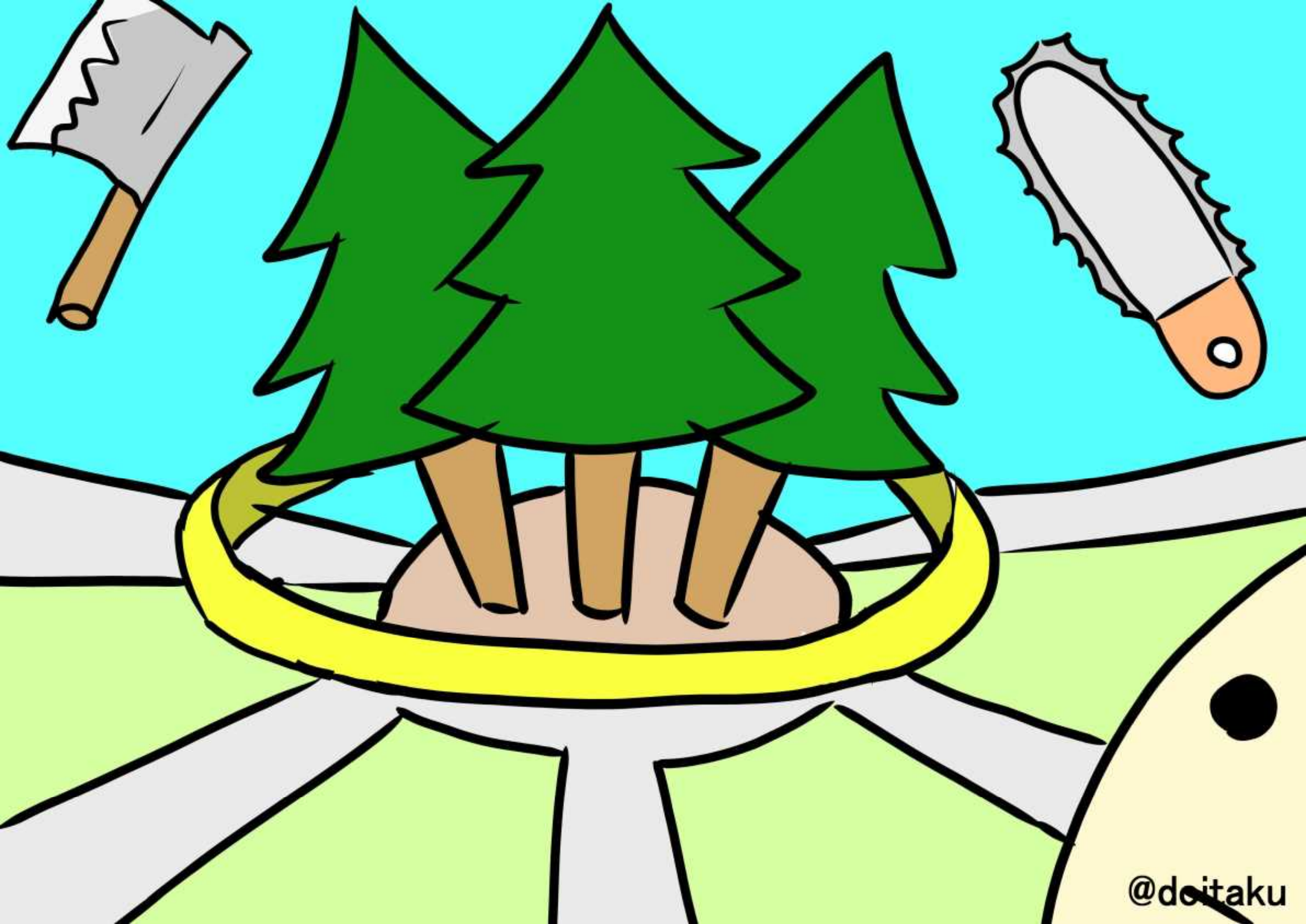






@doitaku





@doitaku





おしましい